

がん検診の受け方

【指定医療機関で受診】 (個別検診)

- 胃がん内視鏡検診**

 50歳以上 3,500円 ※2年に1回 **申込要**
- 大腸がん検診**

 30歳以上 500円 **申込不要**
- 肺がん・結核検診**

 40歳以上 800円 **申込不要**
- 乳がん検診**

 40歳以上 1,300円 ※2年に1回 **申込要**
- 子宮がん検診**

 20歳以上 頸部 1,700円 頸部・体部 2,500円 **申込不要**

【保健センターで受診】 (集団検診)

- 胃がんバリウム検診
大腸がん検診**


 30歳以上 胃 900円 大腸 500円 **申込要**
- 乳がん検診**

 40歳以上 1,300円 ※2年に1回 **申込要**

10/18日 10/27火 11/4水 11/25水 12/7月 12/10木

9/26土 10/2金(PM) 10/7水 10/24土(PM) 10/30金 11/12土 11/30月(PM) 12/2水

人:対象 円:費用 日:実施期間



がん検診HP

指定医療機関など、詳しくは草加市HPをご確認ください。
検診を受けたら必ず結果を確認し、精密検査の対象となった方は早めに受診しましょう！



申込期限

令和8年 **10月30日(金)**まで(当日消印有効)

※申込が不要な検診については、実施期間内に指定医療機関へ直接ご予約下さい

申込方法は 3種類

はがき

- ①氏名
- ②生年月日
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤希望する検診
- ⑥希望日

電子申請



保健センター窓口

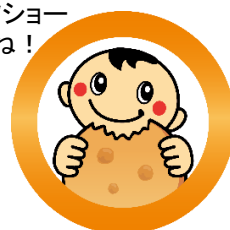


お問い合わせ先

草加市保健センター

〒340-0016 草加市中央1-1-8
草加市役所第二庁舎内(平日8:30~17:00)
TEL:048-922-0200
FAX:048-922-1516

トリセツショ-
も見てね！



がんは、早期発見すれば 80~90%^{※1}が治ります。^{※2}

※1 肺がんは80%以上、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんは90%以上。

※2 ここでいう「治ります」とは、診断時からの5年純生存率(ネット・サバイバル)です。純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。院内がん登録生存率集計報告書においても2014-2015年5年生存率から、相対生存率に代わりこの方法による純生存率が採用されています。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」(2015年診断例)5年ネット・サバイバル

ぜひ、この機会にがん検診を受けてください。

国が推奨するがん検診の種類

種類	検査項目 ^{※1}	対象年齢	受診間隔
 胃がん検診 ^{※2}	胃エックス線検査 ^{※3} または胃内視鏡検査	50歳以上	2年に1回
 大腸がん検診	便潜血検査(検便)	40歳以上	1年に1回
 肺がん検診	胸部エックス線検査	40歳以上	1年に1回
 乳がん検診	マンモグラフィ	40歳以上	2年に1回
 子宮頸がん検診 ^{※4}	視診、子宮頸部の細胞診および内診	20歳以上	2年に1回

※1 検診項目は問診を含みます。肺・乳がん検診の問診では必ずしも医師が対面で聴取する必要はなく、自記式の質問用紙に記入することで問診の代わりとしてよいことになっています。

※2 検査項目については、受診者がいずれか一方を選択します。

※3 当分の間、胃エックス線検査については、40歳以上、1年に1回の実施も可とされています。

※4 HPV検査単独法については、実施自治体が少ないため、記載を省略しています。

出典：厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」、厚生労働省「職域におけるがん検診に関するマニュアル」

テレビ番組のご案内

がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト> 希望の虹プロジェクト
静岡社会健康医学大学院大学 満田友里准教授が制作に協力！

NHK あしたが変わるトリセツショ-「がん対策のトリセツ2026」
2026年9月3日(木)【総合】19:30~放送予定

草加市も参加しています



草加市では、胃エックス線検査(バリウム)と大腸がん検診については30歳の方からお受けいただけます。

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

近年、日本人男性の **62.1%** 日本人女性の **48.9%** が、がんになると言われています^{※1}。



男性の方へ

40代



がんは近年、**40代男性の死亡原因の1位** または **2位** となっています。

がんは高齢者だけの病気ではありません。
40代はがんが増え始めるため、
検診によって早期発見することが大切です。

40代男性の死亡者数
ワースト5 (2023年)^{※2}

1位	自殺	2,594人
2位	がん	2,397人
3位	心疾患	1,814人
4位	脳血管疾患	1,131人
5位	肝疾患	870人

あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 大腸がん
- 2 胃がん
- 3 肺がん

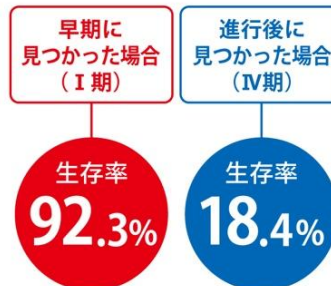
50代



50代はそろそろ“がん年齢”。
でも、定期的な検診受診で、**自覚症状**が出る前に
がんは**早期に発見**できます。

大腸がん・胃がん・肺がんは、早期発見によって80%以上が
治ります^{※3}。

発見時期による5年生存率
〈大腸がん（男女）の場合〉^{※3}



あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 大腸がん
- 2 肺がん
- 3 胃がん

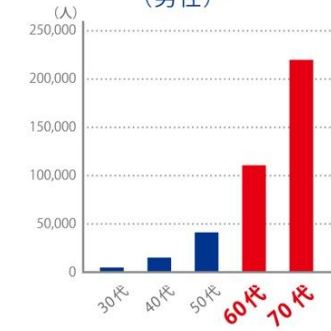
60歳
以上



60歳を過ぎると、がんになる人は**激増**。
毎年、**約11万人の60代男性が**、がんになっ
ています^{※1}。

早期のうちは自覚症状がないため、検診を受けないと
見つけれません。だからこそ、検診による早期発見が大切。

年代別がんになる人の数
（男性）^{※1}



あなたに必ず受診して欲しい、3つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 肺がん
- 2 大腸がん
- 3 胃がん

※1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」全国がん登録（2021年診断例）

※2 人口動態統計（2023年）

※3 ここでいう「生存率」「治ります」とは、診断時からの5年純生存率（ネット・サバイバル）です。純生存率は、「対象となるがんのみが死因となる場合」を推計した生存率です。院内がん登録生存率集計報告書においても2014-2015年5年生存率から、相対生存率に代わりこの方法による純生存率が採用されています。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」（2015年診断例）5年ネット・サバイバル

※4 がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞による推計値

女性の方へ

20代
～30代



20歳を過ぎたら2年に一度、
必ず**子宮頸がん検診**を受診して下さい。

「まだがん検診は関係ない」そう思っていないか？
子宮頸がんは、20代後半以降から増えるがんです。ただ、早期のうちに治療すれば、
90%以上が治ります^{※3}。
でも、早期の段階では自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

子宮頸がん検診は、あなたの**命**と**子宮**を守るための検診です。

年代別子宮頸がんになる人の数^{※1}

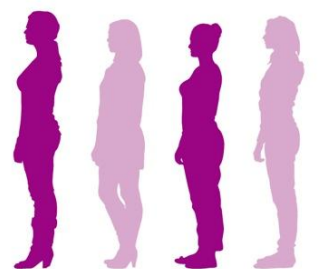


40代



40代女性の約**2人に1人**が、**乳がん検診**を受診
しています。でも、乳がんの他にも気をつけなけ
ればいけない**がん**があるのをご存じですか？

子宮頸がん・大腸がん・胃がん・肺がんといった、乳がん以外の
がんにも、毎年約7千人の40代の女性がなっています^{※1}。



あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 乳がん
- 2 大腸がん
- 3 子宮頸がん
- 4 胃がん
- 5 肺がん

50代



50代は、女性の身体が大きく変わる年代。
がんで死亡する人の数も大きく**増加**します。

乳がん・大腸がん・胃がん・肺がん・子宮頸がんといったが
んは、早期発見で80%以上が治ります^{※3}。しかし、早期のう
ちは自覚症状がないため、検診を受けないと見つけれません。

左記の5つのがんによる
50代女性の死亡者数^{※2}

計**5,000人以上**



あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 乳がん
- 2 大腸がん
- 3 肺がん
- 4 子宮頸がん
- 5 胃がん

60歳
以上



がんになったら治らない、そう思っていないか？
がん検診をすべての対象者が正しく受けると、
毎年日本全国で約**6万7千人の命**が救われます^{※4}。

（ここでいうがん検診とは、推奨されている以下の5つの検診を指します）

女性がなりやすい5つのがんは、検診による早期発見で
80%以上が治ります^{※3}。

発見時期による5年生存率
〈大腸がん（男女）の場合〉^{※3}



あなたに必ず受診して欲しい、5つのがん検診（なりやすいがん順）^{※1}

- 1 大腸がん
- 2 乳がん
- 3 肺がん
- 4 胃がん
- 5 子宮頸がん